

平成16年9月22日

補償のニーズの多様化に応じ、商品ラインアップを拡充



## 住宅安心総合保険『ホームびたっと』商品プラン拡充について

ニッセイ同和損害保険（社長：須藤 秀一郎）は、「住まい」「毎日」「ご近所」の3つの安心で暮らしを守る火災保険主力商品の住宅安心総合保険『ホームびたっと』について、平成16年11月から商品ラインアップを拡充します。

『ホームびたっと』は、平成14年10月からオールリスク型の基本補償で“お客様の暮らしをまるごとサポート”を商品コンセプトに、一戸建住宅と分譲マンションのタイプ別に補償充実のE（Excellent）プラン、厳選補償のS（Selected）プランから選択する方式で発売を開始しました。

平成15年度には約8.5万件（保険料実績約107億円）のご契約をいただき、当社住宅物件の火災保険の43%を占める主力商品となっています。

発売3年目を迎えるにあたり、『住まいの安心（基本的な建物の補償）』ならびに『毎日の安心（さまざまな費用補償）』の補償項目について、より多様化するお客様の補償ニーズに応えるため、補償内容を選択することができるプランをこれまでの4種類から24種類に拡充します。

これにより、保険料負担を現行の8割程度の水準に抑えた加入プランを選択することができるようになり、よりお客様のニーズに「びたっと」フィットしたプランニングができるようになります。

### 1. 『住まいの安心（基本的な建物の補償）』の選択

ホームびたっとEは当社従来商品（住宅総合保険）より基本補償を大幅に追加・拡大したオールリスク型の商品ですが、建物の立地条件（地域や土地の形状など）によってリスクが小さくなる『水災』補償や比較的小規模な損害となることが多い『破損・汚損損害』に対する補償について、ホームびたっとの補償対象から除くことができるプランを発売します。

< ホームびたっとEの基本補償 >

補償の内容	補償の選択
火災、落雷、破裂・爆発	
外部からの物体の飛来、水濡れ、騒じょう	
風災・ひょう災・雪災	
盗難（建物に生じた盗取、き損、汚損）	
水災（台風・暴風雨等によるこう水、高潮、土砂崩れ等）	補償対象外とすることが可能
その他不測かつ突発的な事故（破損や汚損事故等）	補償対象外とすることが可能

## 2. 『毎日の安心(さまざまな費用補償)』の販売パターン拡充

上記に加えて、事故や災害にともなうさまざまな出費を補償する以下の費用保険金について、従来は全件自動付帯としておりましたが、希望により着脱を選択できる加入プランを追加します。

< ホームびたっとEの主な費用保険金 > (着脱欄の 印の費用保険金は加入プランによる着脱の選択が可)

費用保険金	着脱	支払われる費用保険金(例)
地震火災費用		地震・噴火等による火災により、建物が半焼以上となった場合
錠前交換費用		家のカギが自宅から盗難された場合のドアロック交換費用
水道管修理費用		建物の専用水道管が凍結により損壊した場合の水道管修理費用
建替費用		全損に至らない損害時(損害割合が70%以上)に、建物を建て替えた場合の建替費用のうち損害保険金を上回った費用
構内構築物修復費用		一戸建住宅で、事故の際に庭木などの修復に要した費用
共用部分修理費用		マンションで、事故の際にバルコニー等共用部分の修復に要した費用
緊急時仮住い費用		事故の際に当面の仮住まいとしてホテル等に宿泊した費用
防犯対策費用		自宅が盗難に遭い、防犯カメラや防犯シャッター等を設置した費用
バリアフリー改造費用		家族が事故で要介護状態となり、手摺りやスロープ等を設置した費用

## 3. 保険料例 (東京都世田谷区、保険期間1年、一時払の場合)

加入プラン 付帯条件	現行	【ケース1】	【ケース2】
	ホームびたっとE (居住プラン)	水災/破損汚損損害 ともに不担保	上記建替費用から バリアフリー改造 費用までを不担保
一戸建て C 構造 (木造モルタル塗) 建物保険金額 2,000万円	32,170円 (48,770円)	29,370円 (42,670円)	29,800円 (46,400円)
マンション(鉄筋コンクリート) 建物保険金額 2,000万円	11,200円 (19,800円)	9,200円 (15,600円)	9,000円 (17,600円)

( )は家財特約(保険金額1,000万円)を付帯するプランの場合

以上

# 「ホームぴたっと」の商品コンセプト及び補償内容

(太字は平成16年11月改定による改定部分)

